

ANAホールディングス株式会社 説明会

2019年3月期決算

代表取締役社長

片野坂 真哉

2019年4月26日



目 次

1. 2018年度決算・2019年度業績予想

2018年度 決算	P. 4
2018年度の振り返り	P. 5
2019年度の戦略テーマ	P. 6
2019年度 業績予想	P. 7
価値創造目標	P. 8
ESGに関する取り組み	P. 9
株主還元	P. 10
(参考) 財務指標の推移	P. 11

2. 2018年度 決算 (詳細)

業績ハイライト	P. 14
連結決算概要	
経営成績	P. 15
財政状態	P. 16
キャッシュフロー	P. 17
セグメント別実績	P. 18
航空事業	
収入・費用	P. 19
営業利益増減要因	P. 20
国内旅客事業	P. 21-22
国際旅客事業	P. 23-26
国内貨物事業	P. 27
国際貨物事業	P. 28-30
LCC事業	P. 31-32
燃油・為替ヘッジの進捗状況	P. 33
航空事業以外のセグメント	P. 34

3. 2019年度 業績予想 (詳細)

連結業績予想	P. 36
セグメント別 計画	P. 37
航空事業 売上高・営業費用 計画	P. 38
計画前提	
ANA旅客事業	P. 39
ANA貨物事業	P. 40
LCC事業	P. 41

4. 補足資料

運用航空機数	P. 44
国際旅客 方面別実績 (構成比)	P. 45
国際貨物 方面別実績 (構成比)	P. 46

1. 2018年度 決算 ・ 2019年度 業績予想

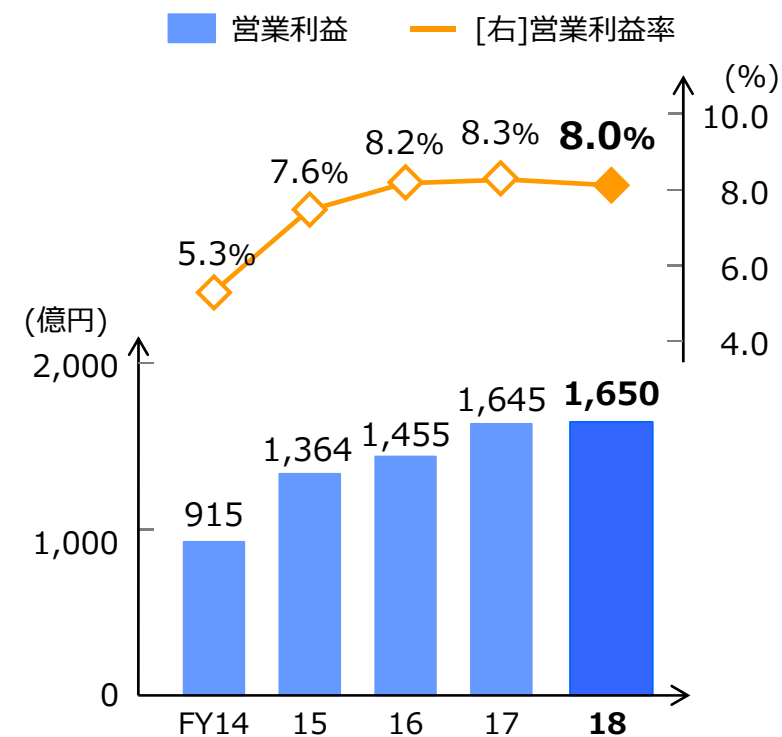


2018年度 決算 (概要)

1. 2018年度 決算 (連結)

(億円)	実績	前年差	計画差
売上高	20,583	+865	+183
航空事業	18,144	+832	+94
営業利益	1,650	+5	+0
航空事業	1,605	+36	+5
営業利益率	8.0%	▲0.3pt	▲0.1pt
経常利益	1,566	▲39	▲13
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,107	▲331	+87
EBITDA	3,245	+96	▲14
1株あたり当期純利益	331.0円	▲86.7円	+26.2円

2. 営業利益・営業利益率 (連結)



▶ ポイント

- 1) 売上高 : 当社グループとして、初めて2兆円を超過
- 2) 営業利益 : 4期連続で最高益を更新

2018年度の振り返り

	2018年度 当初計画		達成状況	
	目標	テーマ	実績	分析
国際旅客	6,480億円 (売上高)	✓ ネットワーク優位性を強化	6,515億円	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 堅調な需要動向が持続 ✓ 羽田ネットワークの優位性を発揮
国内旅客	6,910億円 (売上高)	✓ 安定的な収益基盤を堅持	6,966億円	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新運賃制度の導入 (単価の向上)
国際貨物	1,275億円 (売上高)	✓ 収益性の向上	1,250億円	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 上期を中心に値上げを実施 ✓ 第4四半期に需要が減少
LCC (2社合計)	1,000億円 (売上高)	✓ 統合に向けた準備 (ネットワークの最適化)	936億円	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 機材・人財の移行開始 (バニラエア→Peach)
ユニットコスト (ANAブランド)	9.4円/ASK	✓ 経営の基盤固め	9.5円/ASK	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 燃油費の影響を除くと計画並み
営業利益	1,650億円	✓ 過去最高水準を目指す	1,650億円	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 当初計画を達成

2019年度の戦略テーマ

2019年度

2020年度 以降

	テーマ	アクションプラン
成長戦略	機材	新たな機材の活用 A380 : ハワイ線に投入 B787-10 : アジア線の供給拡大 B777-F : 三国間貨物の獲得
	ネットワーク	新規路線の就航 成田 = パース、成田 = チェンナイ 提携戦略の深化 アライアンス活用によるネットワーク拡大
	LCC	経営統合 航空機や乗務員の稼働率向上
安全	B787 エンジン問題	運航への支障を完全回避
基本品質	品質サービス	顧客満足度・定時性の向上
	人財	総合トレーニングセンターの運用開始

成長の具現化

国際線ネットワークの拡大

事業ポートフォリオの推進

2020年度に向けた
総仕上げ

2019年度 業績予想

1. 2019年度 業績予想（連結）

(億円)	通期	前年差
売上高	21,500	+916
航空事業	19,100	+956
営業利益	1,650	▲0
航空事業	1,600	▲5
営業利益率	7.7%	▲0.3pt
経常利益	1,600	+33
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,080	▲27
EBITDA	3,370	+124
1株あたり当期純利益	322.7円	▲8.2円

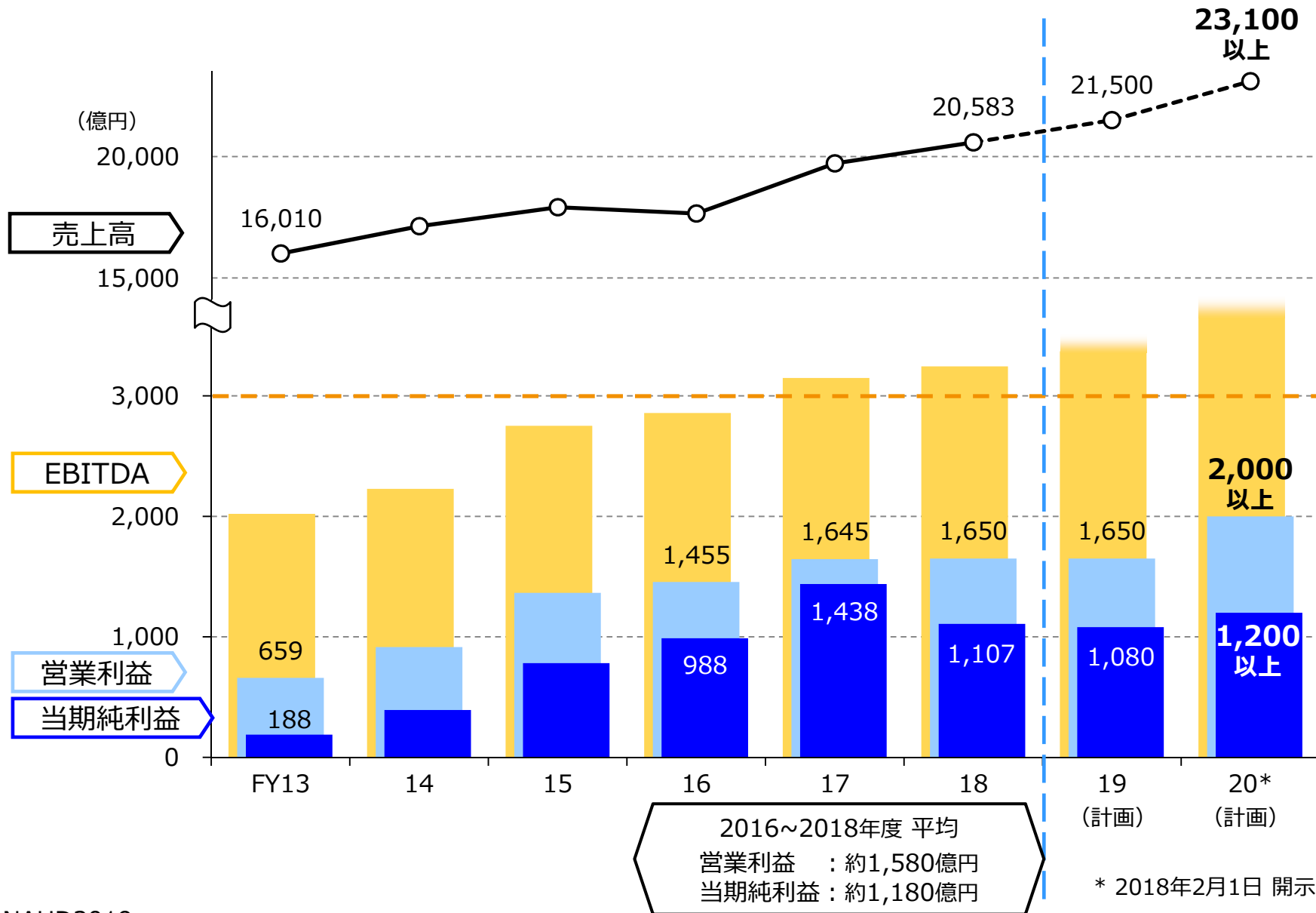
2. 事業別の概要（売上高と主な戦略）

- 1) 国際旅客 7,070億円
 - ・成田を中心としたネットワーク拡大
 - ・ハワイ戦略の推進
- 2) 国内旅客 7,050億円
 - ・新運賃戦略の効果を継続して享受
- 3) 貨物郵便 1,690億円
 - ・大型フレイターの就航
- 4) LCC 1,020億円
 - ・経営の統合（10月末予定）

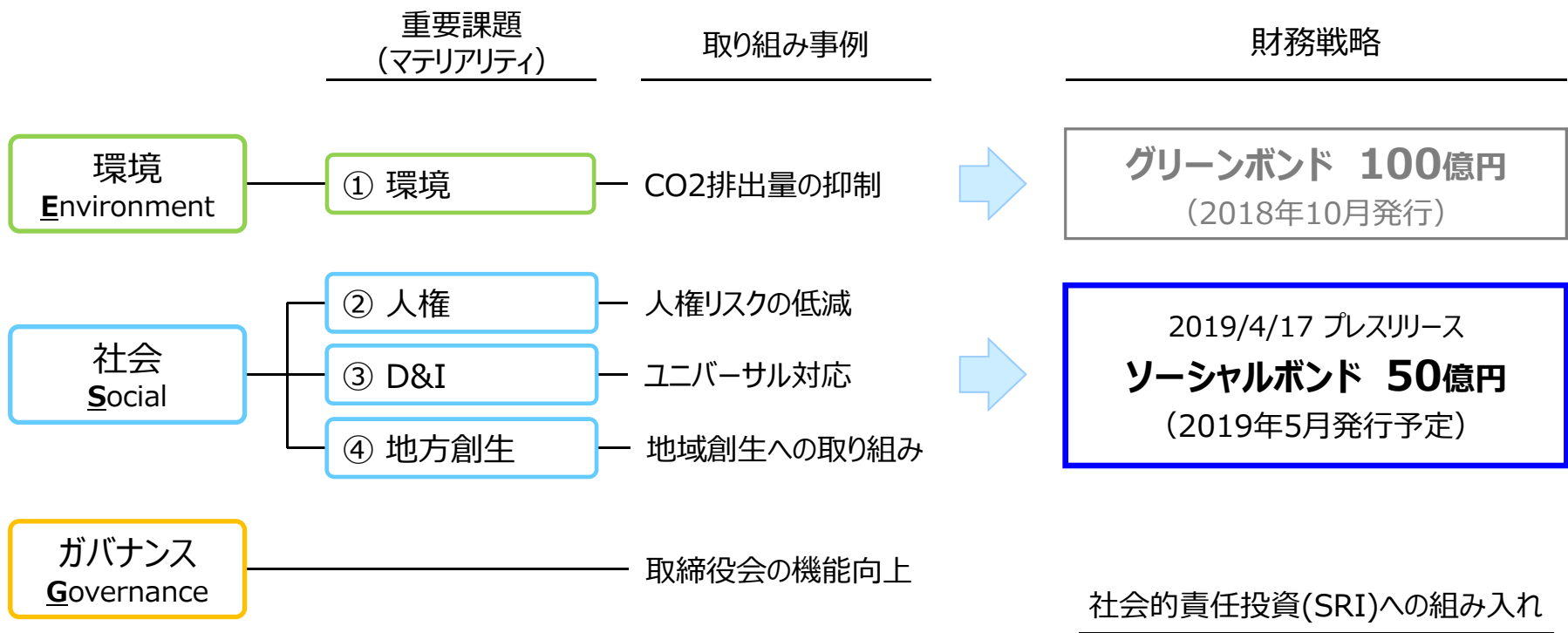
➤ ポイント

- 1) 売上高 : 国際線事業を中心に、トップラインを拡大
- 2) 営業利益 : 費用の増加が先行する中、2018年度並みの水準を確保

価値創造目標



ESGに関する取り組み



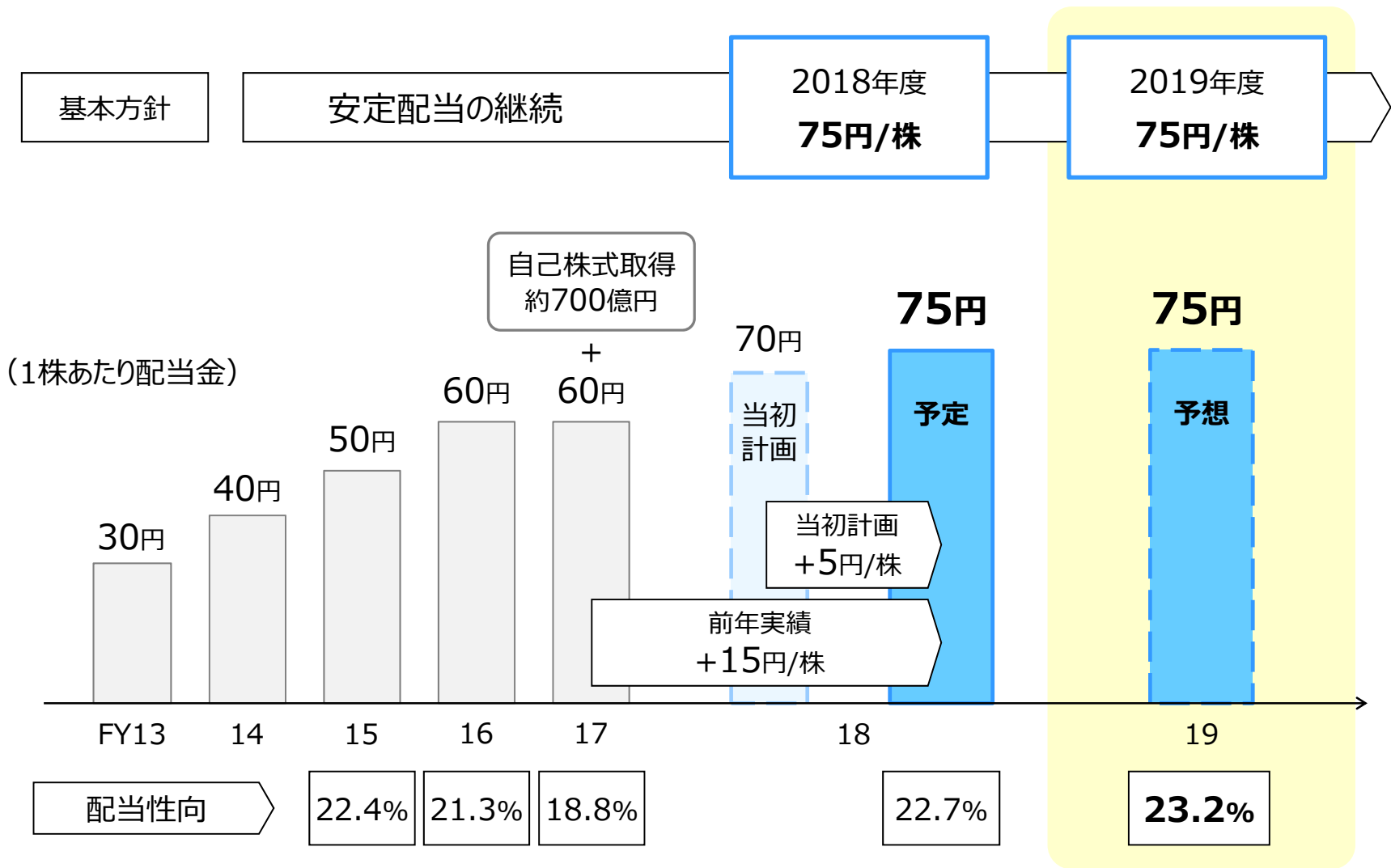
ESG経営の推進

持続的成長の実現

- 1) 価値創造の追求
(利益の増加)
- 2) 経済的価値と社会的価値のバランスコントロール
(利益の最適配分)



株主還元



*FY13~16: 株式併合を加味して再計算

*FY17: Peach Aviation連結化に伴う特別利益を除いて配当性向を算定

(参考) 財務指標の推移

	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	
収益性	営業利益率 (%)	4.1	5.3	7.6	8.2	8.3	8.0
	ROE (%)	2.5	5.1	9.8	11.6	15.1*	10.6
	ROA (%)	3.2	4.2	6.1	6.5	6.8	6.4
効率性	総資産回転率 (回)	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.7
安全性	自己資本比率 (%)	34.3	34.7	35.4	39.7	38.6	40.9
	D/Eレシオ (倍)	1.1	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7

*Peach Aviation連結化に伴う特別利益を除くと11.7%

Intentionally Blank

2. 2018年度 決算（詳細）



業績ハイライト

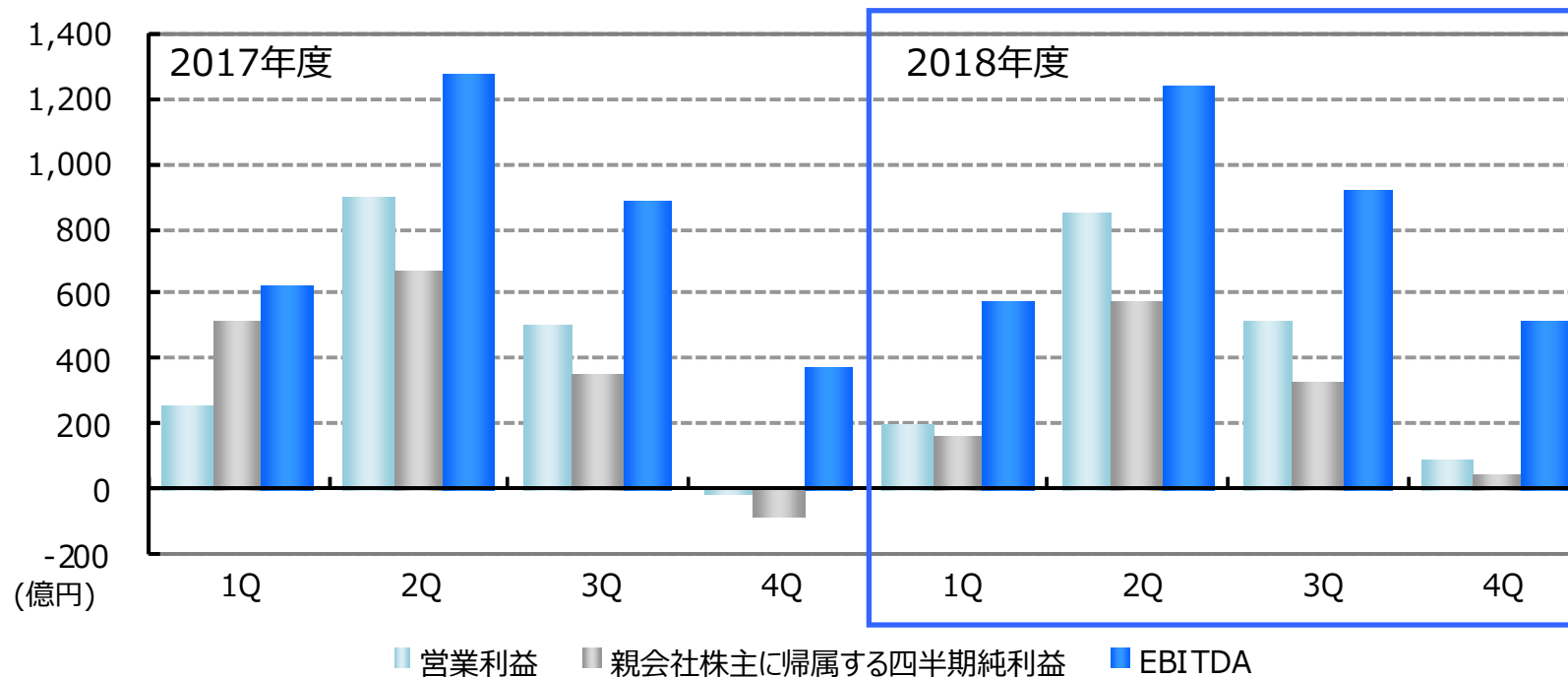
当年度と前年度各四半期の業績比較

【2018年度 (連結)】

- 営業利益 : 1,650億円 (前年同期比 + 5億円)
- 親会社株主に帰属する当期純利益 : 1,107億円 (同 △ 331億円)
- EBITDA : 3,245億円 (同 + 96億円)

【第4四半期 (1-3月期) (連結)】

- 営業利益 : 84億円
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : 39億円
- EBITDA : 512億円



連結決算概要

経営成績	単位：億円	FY2018			FY2018	
		FY2017	FY2018	前年差	第4四半期	前年差
売上高		19,717	20,583	+ 865	4,898	+ 89
営業費用		18,072	18,932	+ 860	4,814	△ 9
営業利益		1,645	1,650	+ 5	84	+ 98
営業利益率 (%)		8.3	8.0	△ 0.3pt	1.7	+ 2.0pt
営業外損益		△ 38	△ 83	△ 44	△ 58	△ 41
経常利益		1,606	1,566	△ 39	25	+ 57
特別損益		360	△ 26	△ 386	38	+ 117
親会社株主に帰属する当期純利益		1,438	1,107	△ 331	39	+ 130
当期純利益		1,456	1,118	△ 338	42	+ 132
その他包括利益		168	297	+ 129	293	+ 441
包括利益		1,624	1,416	△ 208	336	+ 573

連結決算概要

財政状態

単位：億円

	FY2017 期末	FY2018 期末	前年度 期末差
総資産	25,624	26,871	+ 1,246
自己資本	9,886	10,994	+ 1,107
自己資本比率(%)	38.6	40.9	+ 2.3pt
有利子負債残高	7,983	7,886	△ 97
D/Eレシオ (倍) *	0.8	0.7	△ 0.1
純有利子負債残高 **	4,408	4,949	+ 541

* オフバランスリース債務額 なし（前年度期末 205億円）

** 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - （流動資産（現金及び預金 + 有価証券））

連結決算概要

キャッシュフロー

単位：億円

	FY2017	FY2018	前年差
営業キャッシュフロー	3,160	2,961	△ 198
投資キャッシュフロー	△ 3,244	△ 3,086	+ 158
財務キャッシュフロー	△ 299	△ 464	△ 164
現金及び現金同等物の増減額	△ 385	△ 586	△ 201
現金及び現金同等物の期首残高	3,090	2,705	} △ 586
現金及び現金同等物の期末残高	2,705	2,118	
減価償却費	1,504	1,595	+ 91
設備投資額（固定資産のみ）	3,047	3,758	+ 711
実質フリーキャッシュフロー （3ヶ月超の定期・譲渡性預金を除く）	614	△ 180	△ 794
EBITDA（営業利益+減価償却費）	3,149	3,245	+ 96
EBITDAマージン(%)	16.0	15.8	△ 0.2pt

連結決算概要

セグメント別実績

単位：億円

	FY2017	FY2018	前年差	FY2018 第4四半期	前年差	
売上高	航空事業	17,311	18,144	+ 832	4,309	+ 79
	航空関連事業	2,843	2,910	+ 67	739	+ 11
	旅行事業	1,592	1,507	△ 85	354	△ 19
	商社事業	1,430	1,506	+ 76	364	△ 0
	その他	387	409	+ 22	117	+ 11
	調整額	△ 3,847	△ 3,895	△ 47	△ 986	+ 6
	合計（連結）	19,717	20,583	+ 865	4,898	+ 89
営業利益	航空事業	1,568	1,605	+ 36	112	+ 98
	航空関連事業	106	131	+ 25	9	+ 17
	旅行事業	37	6	△ 31	△ 7	△ 8
	商社事業	45	37	△ 8	7	△ 1
	その他	27	22	△ 4	2	△ 1
	調整額	△ 140	△ 153	△ 12	△ 40	△ 6
	合計（連結）	1,645	1,650	+ 5	84	+ 98

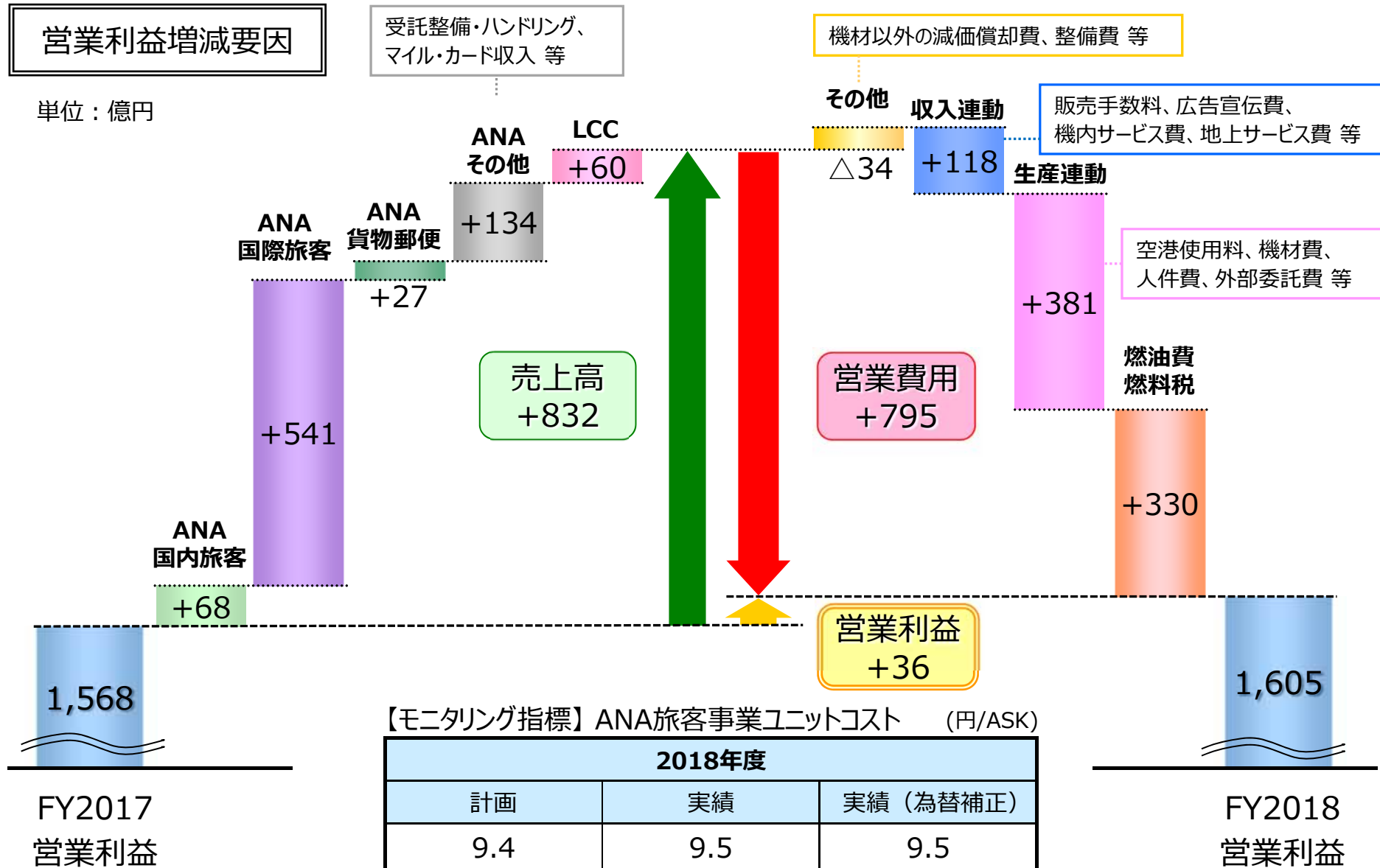
航空事業

収入・費用		単位：億円		FY2017	FY2018	前年差	FY2018 第4四半期	前年差
売上高	ANA	国内旅客	6,897	6,966	+ 68	1,617	+ 46	
		国際旅客	5,974	6,515	+ 541	1,549	+ 49	
		貨物郵便	1,580	1,607	+ 27	341	△ 50	
		その他	1,983	2,118	+ 134	556	+ 21	
	LCC		875	936	+ 60	243	+ 12	
		合計		17,311	18,144	+ 832	4,309	+ 79
営業費用		燃油費・燃料税	3,006	3,337	+ 330	762	+ 2	
		空港使用料	1,224	1,216	△ 8	301	+ 4	
		航空機材賃借費	1,104	1,234	+ 129	310	+ 32	
		減価償却費	1,442	1,529	+ 87	411	+ 38	
		整備部品・外注費	1,669	1,570	△ 99	443	△ 188	
		人件費	2,019	2,078	+ 58	527	+ 0	
		販売費	1,026	1,078	+ 51	267	△ 0	
		外部委託費	2,236	2,396	+ 159	627	+ 53	
		その他	2,013	2,098	+ 85	543	+ 36	
		合計		15,743	16,538	+ 795	4,196	△ 19
営業利益		営業利益	1,568	1,605	+ 36	112	+ 98	
	EBITDA (営業利益+減価償却費)		3,010	3,135	+ 124	524	+ 137	
	EBITDAマージン (%)		17.4	17.3	△ 0.1pt	12.2	+ 3.0pt	

航空事業

営業利益増減要因

単位：億円



航空事業

国内旅客事業（実績）

(ANAブランド)	FY2017	FY2018	前年比(%)	FY2018 第4四半期	前年比(%)
座席キロ（百万）	58,426	58,475	+ 0.1	14,391	+ 3.2
旅客キロ（百万）	40,271	40,704	+ 1.1	9,733	+ 2.2
旅客数（千人）	44,150	44,325	+ 0.4	10,568	+ 2.1
座席利用率（%）	68.9	69.6	+ 0.7pt*	67.6	△ 0.6pt*
旅客収入（億円）	6,897	6,966	+ 1.0	1,617	+ 3.0
ユニットレベニュー（円） （旅客収入／座席キロ）	11.8	11.9	+ 0.9	11.2	△ 0.2
イールド（円） （旅客収入／旅客キロ）	17.1	17.1	△ 0.1	16.6	+ 0.7
単価（円） （旅客収入／旅客数）	15,623	15,716	+ 0.6	15,305	+ 0.9

* 座席利用率のみ前年差

航空事業

国内旅客事業（事業動向）

(ANAブランド)

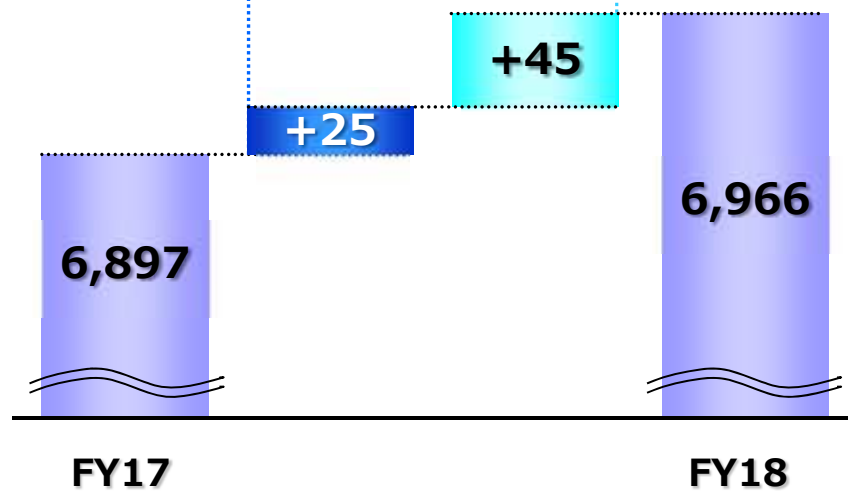
2018年度 収入増減要因

旅客数要因

需要動向	+40 (+15)
営業施策	+60 (+20)
その他（天候など）	△75 (+0)

単価要因

運賃政策	+35 (+15)
客体構成変化	△20 (△5)
他社競合・その他	+30 (+5)

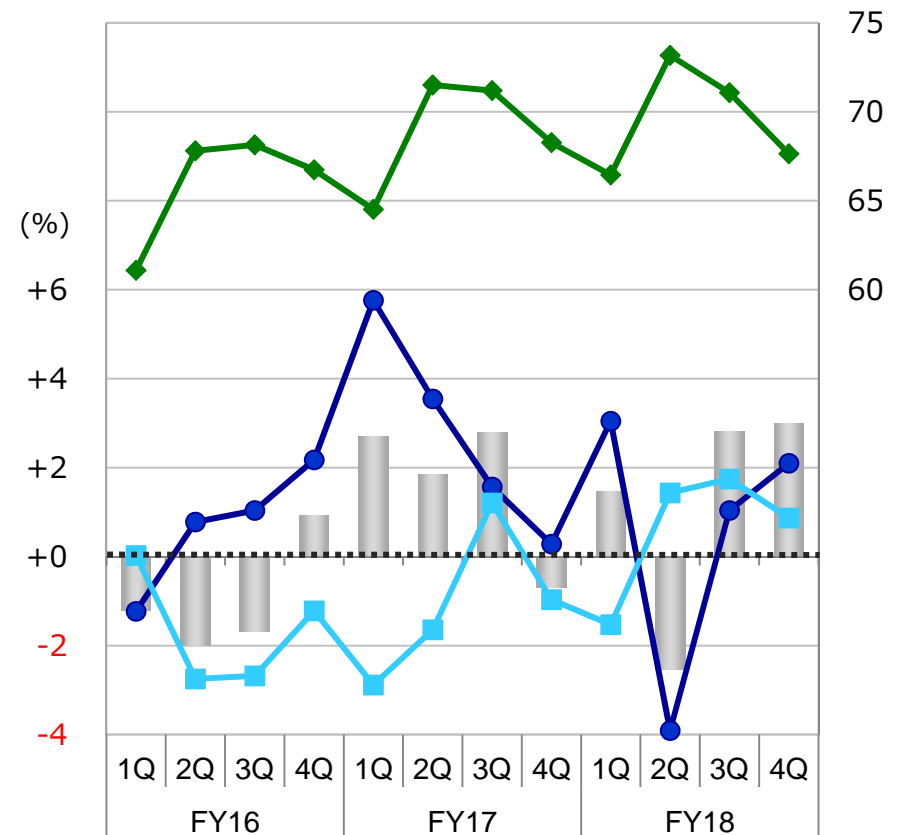


(カッコ内は第4四半期のみの実績値)

単位：億円

四半期別 実績推移

左軸（前年比） ■：旅客収入 ●：旅客数 □：単価
右軸（実績） ◆：座席利用率 (%)



航空事業

国際旅客事業（実績）

(ANAブランド)	FY2017	FY2018	前年比(%)	FY2018 第4四半期	前年比(%)
座席キロ（百万）	64,376	65,976	+ 2.5	16,342	+ 1.0
旅客キロ（百万）	49,132	50,776	+ 3.3	12,477	+ 0.2
旅客数（千人）	9,740	10,093	+ 3.6	2,450	△ 2.0
座席利用率（%）	76.3	77.0	+ 0.6pt*	76.4	△ 0.6pt*
旅客収入（億円）	5,974	6,515	+ 9.1	1,549	+ 3.3
ユニットレベニュー（円） （旅客収入／座席キロ）	9.3	9.9	+ 6.4	9.5	+ 2.3
イールド（円） （旅客収入／旅客キロ）	12.2	12.8	+ 5.5	12.4	+ 3.0
単価（円） （旅客収入／旅客数）	61,336	64,556	+ 5.3	63,219	+ 5.4

* 座席利用率のみ前年差

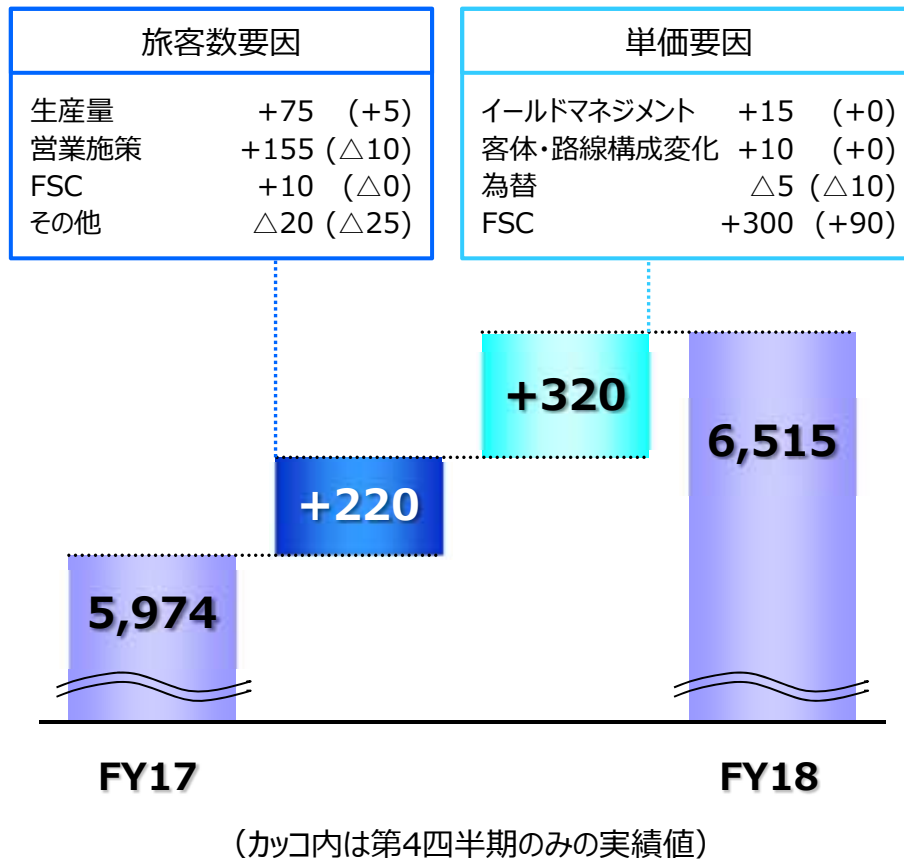
航空事業

国際旅客事業（事業動向）

(ANAブランド)

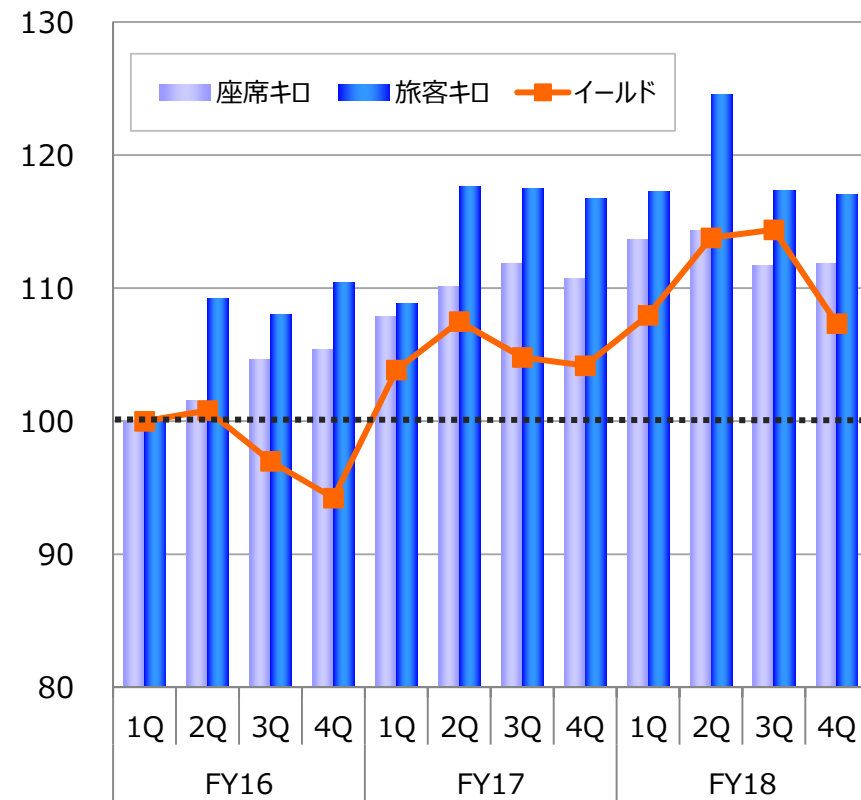
2018年度 収入増減要因

四半期別 実績推移



単位：億円

(指数：FY16 1Q=100)



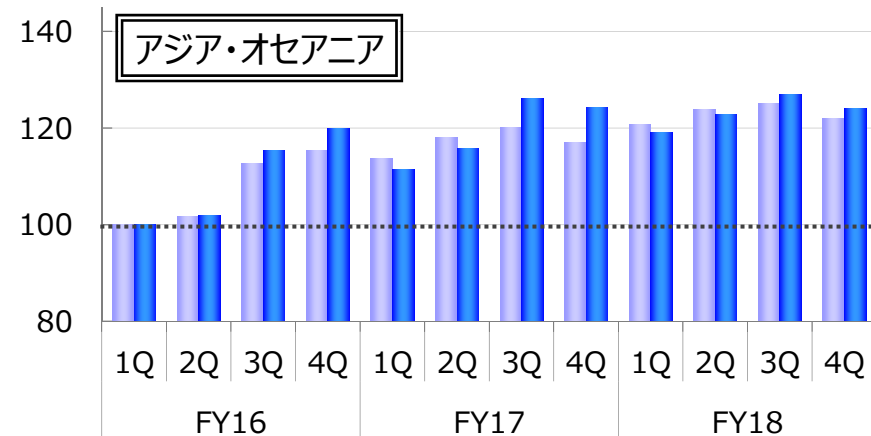
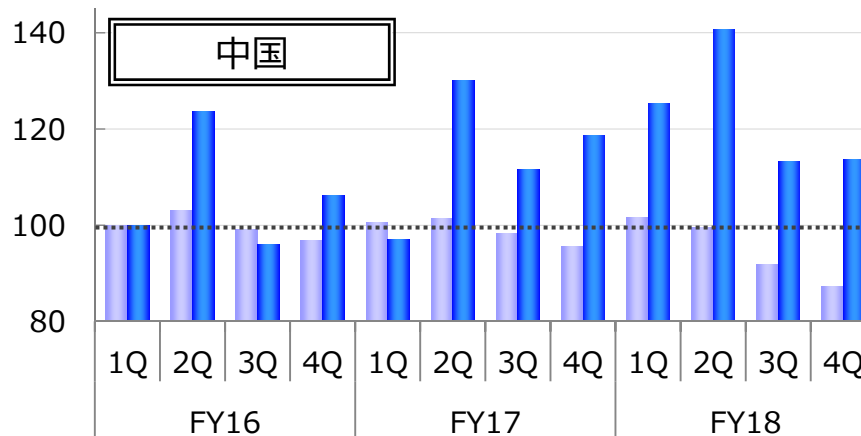
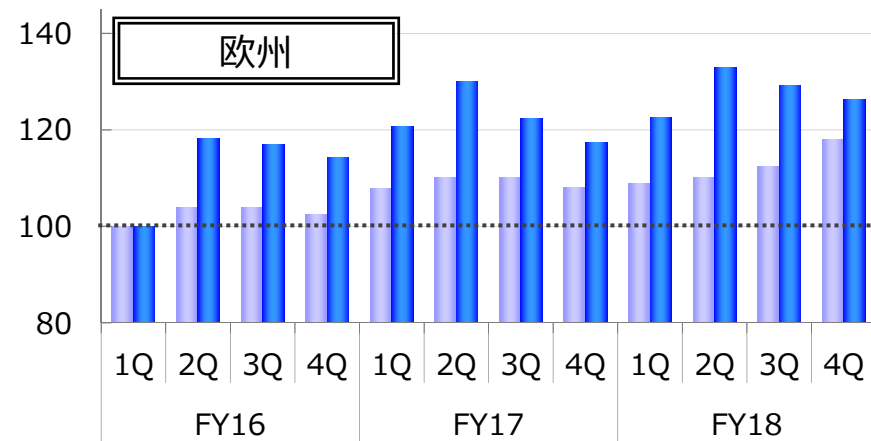
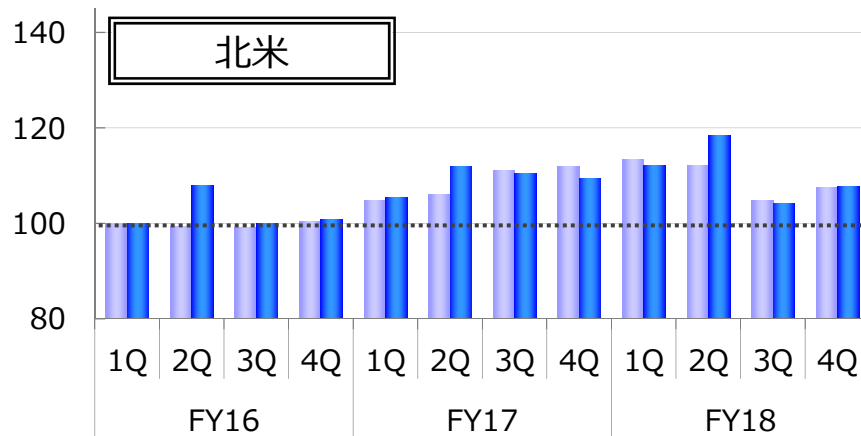
航空事業

国際旅客事業（事業動向）

（ANAブランド）

四半期別 方面別 座席キロ・旅客キロ 推移

（指数 FY16 1Q=100） ■：座席キロ ■：旅客キロ



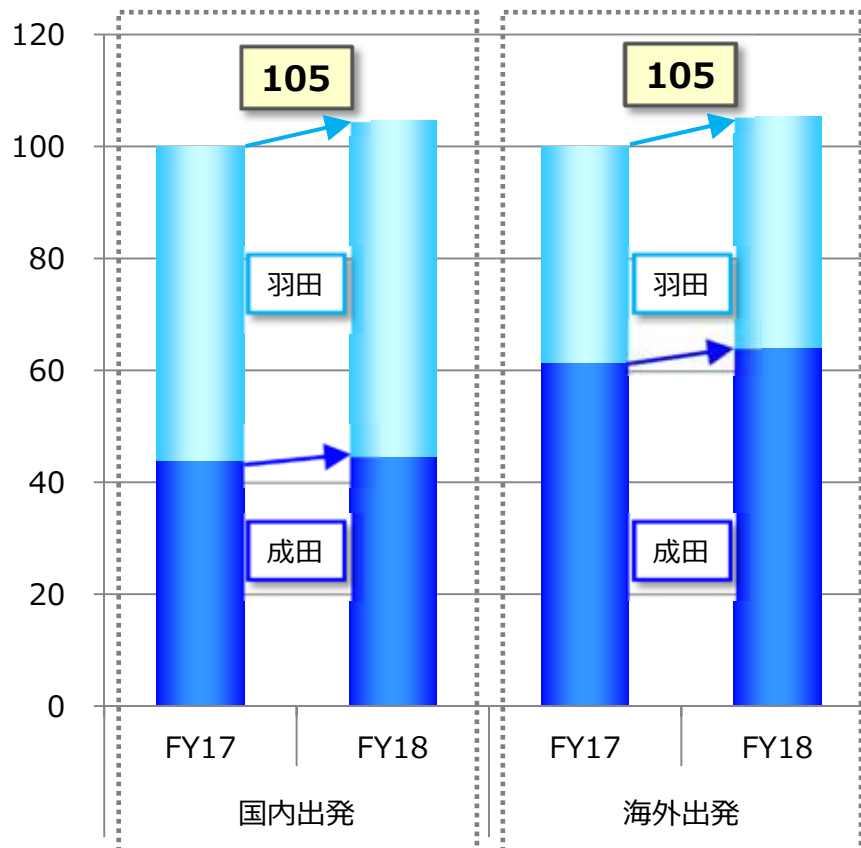
航空事業

国際旅客事業（事業動向）

(ANAブランド)

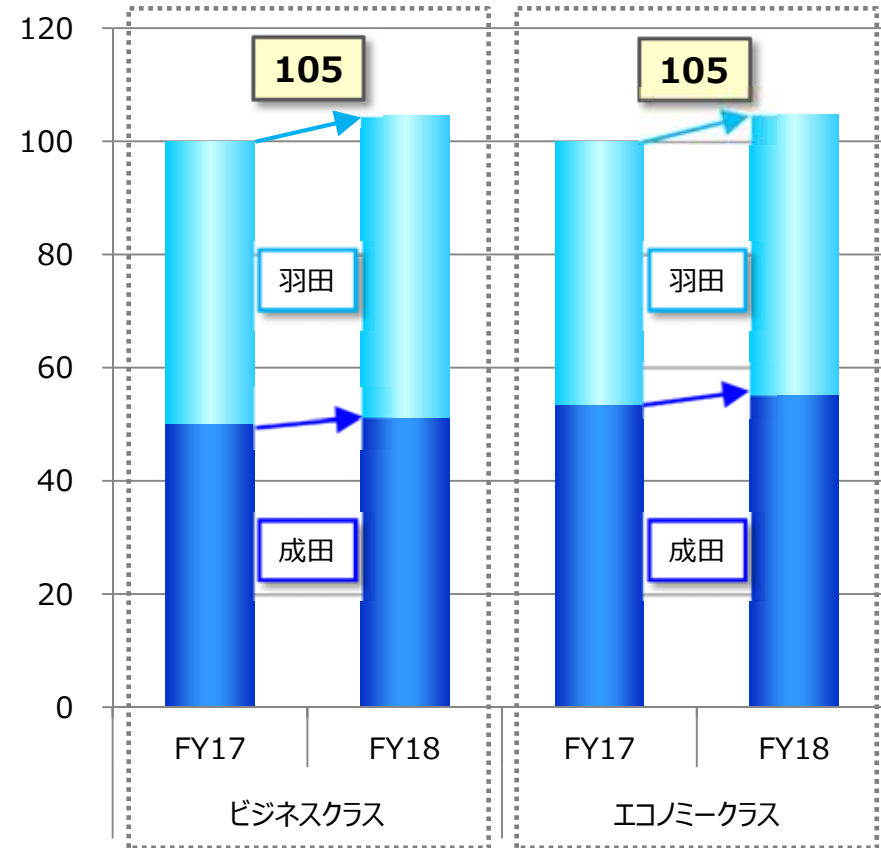
出発地別 実績 (前年同期比較)

旅客数 指数
(FY17=100)



クラス別 実績 (前年同期比較)

旅客数 指数
(FY17=100)



航空事業

国内貨物事業（実績）

	FY2017	FY2018	前年比(%)	FY2018 第4四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	1,739	1,720	△ 1.1	418	+ 3.4
有償貨物トンキロ（百万）	448	408	△ 8.9	91	△ 8.9
貨物輸送重量（千トン）	436	393	△ 9.8	88	△ 9.9
貨物重量利用率（%）	25.8	23.7	△ 2.0pt*	22.0	△ 3.0pt*
貨物収入（億円）	307	274	△ 10.6	61	△ 13.2
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	17.7	16.0	△ 9.6	14.6	△ 16.1
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	68.5	67.2	△ 1.9	66.7	△ 4.7
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	70	70	△ 0.8	69	△ 3.7

* 貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

国際貨物事業（実績）

	FY2017	FY2018	前年比(%)	FY2018 第4四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	6,809	7,122	+ 4.6	1,734	+ 2.4
有償貨物トンキロ（百万）	4,474	4,318	△ 3.5	968	△ 9.5
貨物輸送重量（千トン）	994	913	△ 8.1	198	△ 13.8
貨物重量利用率（%）	65.7	60.6	△ 5.1pt*	55.9	△ 7.4pt*
貨物収入（億円）	1,180	1,250	+ 5.9	261	△ 12.3
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	17.3	17.6	+ 1.3	15.1	△ 14.3
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	26.4	28.9	+ 9.8	27.0	△ 3.0
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	119	137	+ 15.3	132	+ 1.8

* 貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

【参考】国際フレイター（実績）

本表のデータは、P.28記載実績の内数

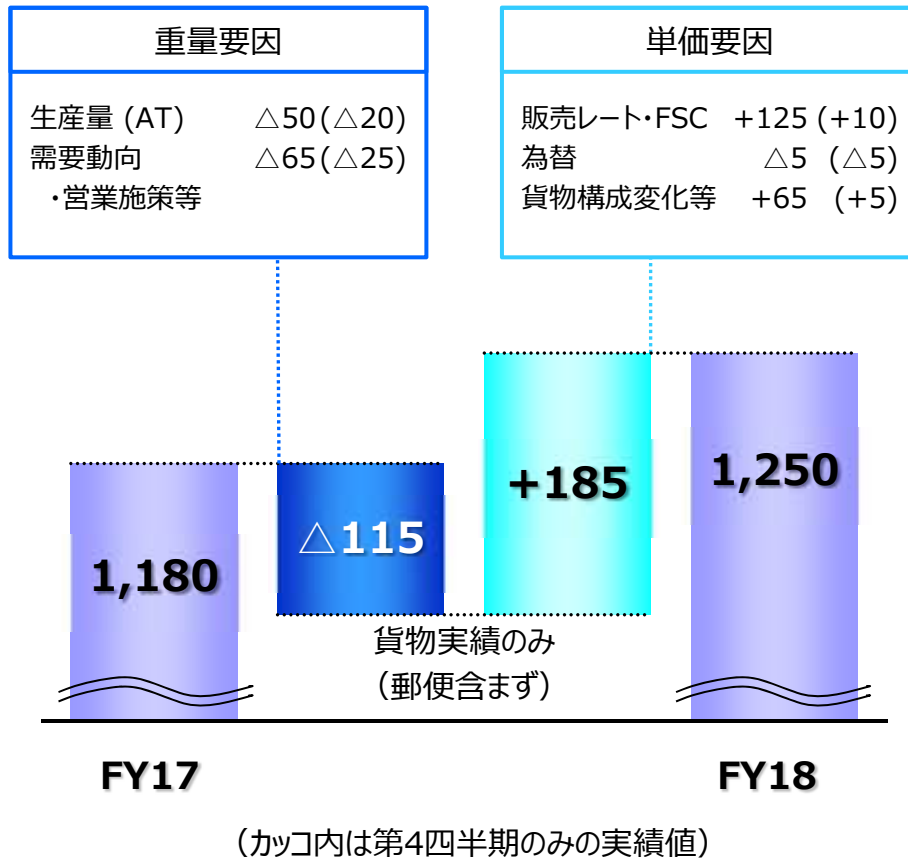
	FY2017	FY2018	前年比(%)	FY2018 第4四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	1,041	1,243	+ 19.5	290	+ 19.1
有償貨物トンキロ（百万）	683	851	+ 24.6	190	+ 19.9
貨物輸送重量（千トン）	368	337	△ 8.3	72	△ 13.2
貨物重量利用率（%）	65.6	68.4	+ 2.8pt*	65.6	+ 0.4pt*
貨物収入（億円）	288	364	+ 26.4	74	+ 2.3
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	27.7	29.3	+ 5.8	25.6	△ 14.1
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	42.3	42.9	+ 1.4	39.1	△ 14.6
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	78	108	+ 37.9	103	+ 18.0

* 貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

国際貨物事業（事業動向）

2018年度 収入増減要因

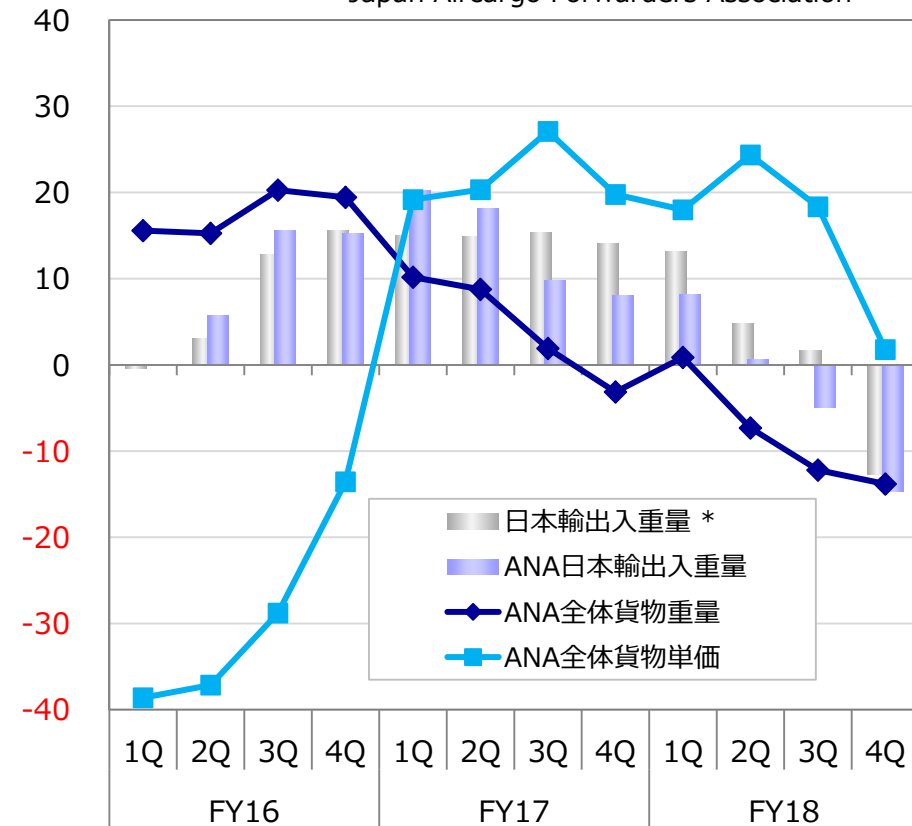


単位：億円

四半期別 実績推移

(前年比：%)

* Japan Aircargo Forwarders Association



FY16の前年比については、販売手数料の廃止による影響を除いた実質的な単価で算出

航空事業

LCC事業（実績）

(Peach Aviation・バニラエア 合計)	FY2017	FY2018	前年比(%)	FY2018 第4四半期	前年比(%)
座席キロ (百万)	11,832	12,052	+ 1.9	2,989	△ 0.8
旅客キロ (百万)	10,212	10,394	+ 1.8	2,596	△ 0.8
旅客数 (千人)	7,797	8,153	+ 4.6	2,053	+ 2.3
座席利用率 (%)	86.3	86.2	△ 0.1pt*	86.9	△ 0.1pt*
売上高 (億円) **	875	936	+ 6.9	243	+ 5.3
ユニットレベニュー (円) (売上高/座席キロ)	7.4	7.8	+ 5.0	8.2	+ 6.1
イールド (円) (売上高/旅客キロ)	8.6	9.0	+ 5.0	9.4	+ 6.2
単価 (円) (売上高/旅客数)	11,228	11,482	+ 2.3	11,875	+ 2.9

* 座席利用率のみ前年差

** 売上高に付帯収入を含む

航空事業

Peach Aviation 輸送実績

(国内線・国際線合計)	FY2017	FY2018	前年比(%)	FY2018 第4四半期	前年比(%)
座席キ〇 (百万)	6,851	7,370	+ 7.6	1,869	+ 5.2
旅客キ〇 (百万)	5,951	6,469	+ 8.7	1,674	+ 7.1
旅客数 (千人)	5,120	5,517	+ 7.8	1,415	+ 4.9
座席利用率 (%)	86.9	87.8	+ 0.9pt*	89.6	+ 1.6pt*

バニラエア 輸送実績

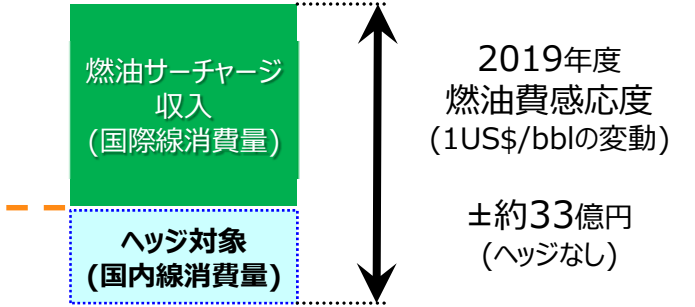
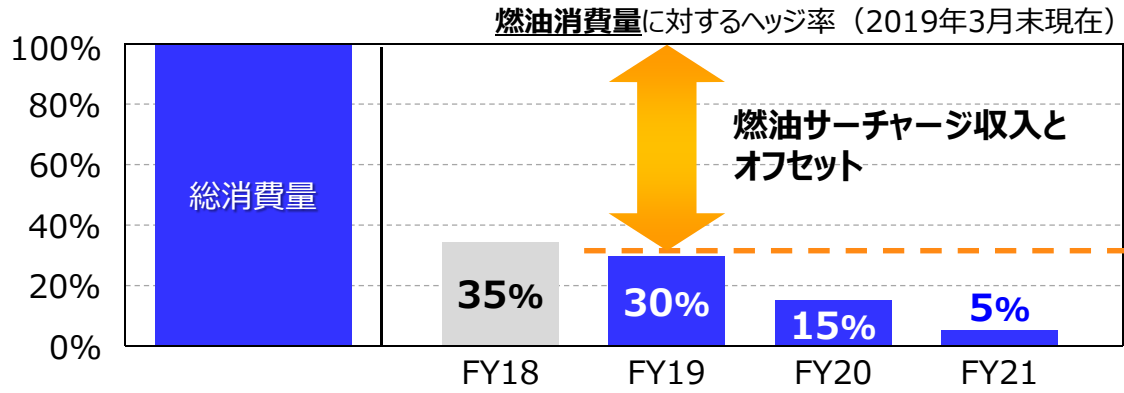
(国内線・国際線合計)	FY2017	FY2018	前年比(%)	FY2018 第4四半期	前年比(%)
座席キ〇 (百万)	4,981	4,681	△ 6.0	1,119	△ 9.4
旅客キ〇 (百万)	4,260	3,924	△ 7.9	921	△ 12.6
旅客数 (千人)	2,677	2,635	△ 1.6	638	△ 3.1
座席利用率 (%)	85.5	83.8	△ 1.7pt*	82.3	△ 3.0pt*

* 座席利用率のみ前年差

燃油・為替ヘッジの進捗状況 (ANAブランド)

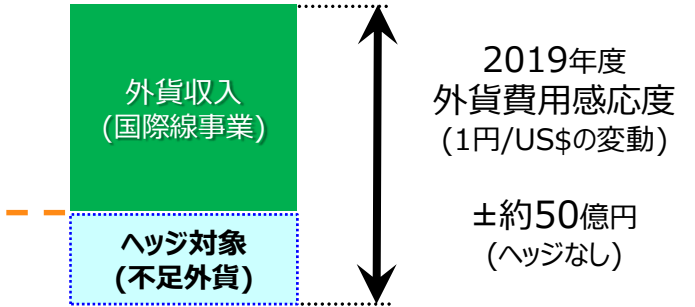
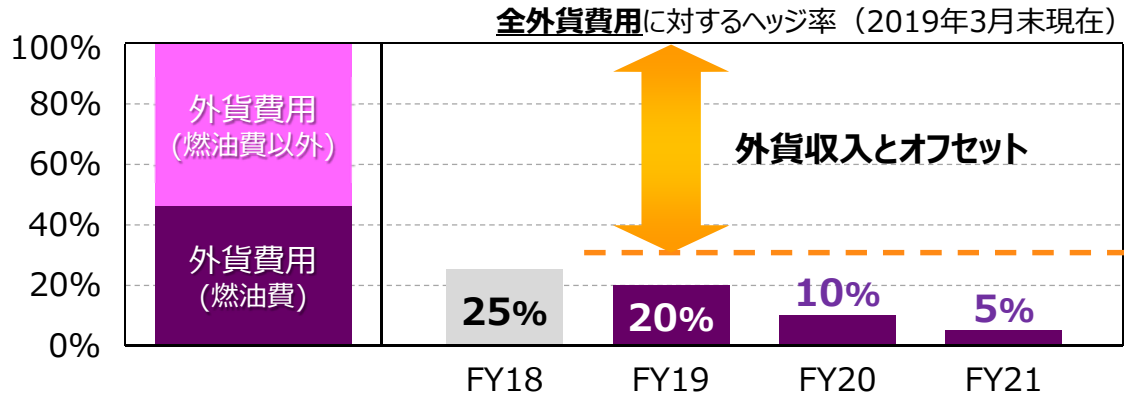
- 1. 燃油ヘッジ 基本方針**
- 1) 国内線消費量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)
 - 2) 国際線消費量は原則としてヘッジ対象外 (燃油サーチャージ収入で対応)

(US\$/bbl)	FY18実績	FY19 前提
ドバイ原油	69.5	65
シンガポールケロシン	84.2	80



- 2. 為替ヘッジ 基本方針**
- 1) 不足する外貨量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)

(円/US\$)	FY18実績	FY19 前提
ドル円レート	110.9	110



航空事業以外のセグメント

セグメント別実績	航空関連事業			旅行事業		
	FY2017	FY2018	前年差	FY2017	FY2018	前年差
単位：億円						
売上高	2,843	2,910	+ 67	1,592	1,507	△ 85
営業利益	106	131	+ 25	37	6	△ 31
減価償却費	43	44	+ 1	2	5	+ 2
EBITDA (営業利益+減価償却費)	150	176	+ 26	40	11	△ 29
EBITDAマージン(%)	5.3	6.1	+ 0.8pt	2.5	0.7	△ 1.8pt
	商社事業			その他		
	FY2017	FY2018	前年差	FY2017	FY2018	前年差
売上高	1,430	1,506	+ 76	387	409	+ 22
営業利益	45	37	△ 8	27	22	△ 4
減価償却費	13	13	+ 0	2	2	+ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	58	50	△ 7	29	25	△ 4
EBITDAマージン(%)	4.1	3.4	△ 0.7pt	7.7	6.1	△ 1.6pt

3. 2019年度 業績予想（詳細）



2019年度 通期業績予想

連結業績予想

(億円)	FY2018	FY2019 (業績予想)	前年差
売上高	20,583	21,500	+ 916
営業費用	18,932	19,850	+ 917
営業利益	1,650	1,650	△ 0
営業利益率(%)	8.0	7.7	△ 0.3pt
経常利益	1,566	1,600	+ 33
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,107	1,080	△ 27

市況	FY2018実績	FY2019前提
為替レート (円/US\$)	110.9	110
ドバイ原油 (US\$/bbl)	69.5	65
シンガポールケロシン (US\$/bbl)	84.2	80

2019年度 通期業績予想

セグメント別 計画

(億円)		FY2018	FY2019 (計画)	前年差
売上高	航空事業	18,144	19,100	+ 955
	航空関連事業	2,910	2,920	+ 9
	旅行事業	1,507	1,670	+ 162
	商社事業	1,506	1,650	+ 143
	その他	409	420	+ 10
	調整額	△ 3,895	△ 4,260	△ 364
	合計 (連結)	20,583	21,500	+ 916
営業利益	航空事業	1,605	1,600	△ 5
	航空関連事業	131	105	△ 26
	旅行事業	6	25	+ 18
	商社事業	37	50	+ 12
	その他	22	20	△ 2
	調整額	△ 153	△ 150	+ 3
	合計 (連結)	1,650	1,650	△ 0

2019年度 通期業績予想

航空事業 売上高・営業費用 計画

(億円)		FY2018	FY2019 (計画)	前年差
売上高	ANA 国内旅客	6,966	7,050	+ 83
	ANA 国際旅客	6,515	7,070	+ 554
	ANA 貨物郵便	1,607	1,690	+ 82
	ANA その他	2,118	2,270	+ 151
	LCC	936	1,020	+ 83
	合計	18,144	19,100	+ 955
営業費用	燃油費・燃料税	3,337	3,400	+ 62
	燃油費・燃料税 以外	13,201	14,100	+ 898
	合計	16,538	17,500	+ 961
営業利益	営業利益	1,605	1,600	△ 5

2019年度 通期業績予想

計画前提 (ANA旅客事業)

数値は前年比表示

* 実数値・(前年差)表示

** 実数値・(前年比)表示

	国内旅客			国際旅客		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
座席キロ	+ 2.8	△ 1.5	+ 0.6	+ 4.7	+ 11.7	+ 8.1
旅客キロ	+ 1.7	△ 1.6	+ 0.1	+ 3.1	+ 8.8	+ 5.9
旅客数	+ 1.8	△ 1.0	+ 0.4	+ 1.0	+ 9.4	+ 5.1
座席利用率(%)*	69.1 (△0.7pt)	69.3 (△0.0pt)	69.2 (△0.4pt)	76.3 (△1.2pt)	74.5 (△2.0pt)	75.4 (△1.6pt)
ユニットレベニュー(円)** (旅客収入/座席キロ)	12.0 (△ 0.1)	12.0 (+ 1.2)	12.0 (+ 0.5)	9.9 (△ 0.5)	9.9 (+ 1.1)	9.9 (+ 0.3)
イールド(円)** (旅客収入/旅客キロ)	17.3 (+ 0.9)	17.3 (+ 1.2)	17.3 (+ 1.1)	13.0 (+ 1.0)	13.3 (+ 3.8)	13.1 (+ 2.4)
単価(円)** (旅客収入/旅客数)	15,914 (+ 0.9)	15,763 (+ 0.7)	15,840 (+ 0.8)	66,016 (+ 3.2)	67,206 (+ 3.2)	66,620 (+ 3.2)

2019年度 通期業績予想

計画前提 (ANA貨物事業)

数値は前年比表示

* 実数値・(前年差)表示

** 実数値・(前年比)表示

	国内貨物			国際貨物		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
有効貨物トンキロ (※)	+ 0.1	△ 6.7	△ 3.3	+ 1.1	+ 10.8	+ 5.9
有償貨物トンキロ	△ 1.9	+ 1.0	△ 0.5	+ 4.5	+ 30.3	+ 16.9
貨物輸送重量	△ 2.9	+ 0.0	△ 1.4	△ 0.9	+24.6	+ 11.1
重量利用率(%)*	23.1 (△0.5pt)	25.8 (+2.0pt)	24.4 (+0.7pt)	64.9 (+2.1pt)	68.7 (+10.3pt)	66.9 (+6.3pt)
ユニットレベニュー(円)** (貨物収入/有効貨物トンキロ)	15.4 (△ 4.6)	17.9 (+ 13.2)	16.6 (+ 3.8)	17.4 (△ 2.6)	17.9 (+ 4.2)	17.7 (+ 0.8)
イールド(円)** (貨物収入/有償貨物トンキロ)	66.5 (△ 2.6)	69.2 (+ 4.6)	67.9 (+ 0.9)	26.8 (△ 5.8)	26.1 (△ 11.4)	26.4 (△ 8.7)
単価(円)** (貨物収入/貨物輸送重量)	70 (△ 1.7)	72 (+ 5.6)	71 (+ 1.9)	132 (△ 0.6)	131 (△ 7.3)	131 (△ 3.9)

2019年度 通期業績予想

計画前提 (LCC事業)

(バニラエア・Peach Aviation 合計)

数値は前年比表示

* 実数値・(前年差) 表示

** 実数値・(前年比) 表示

	LCC		
	上期	下期	通期
座席キロ	△ 0.3	+ 3.7	+ 1.7
旅客キロ	+5.1	+ 9.0	+ 7.1
旅客数	+ 6.4	+ 10.0	+ 8.2
座席利用率(%)*	91.9 (+4.8pt)	89.7 (+4.4pt)	90.8 (+4.5pt)
ユニットレベニュー(円)** (売上高/座席キロ)	8.7 (+ 7.8)	8.0 (+ 6.8)	8.3 (+ 7.2)
イールド(円)** (売上高/旅客キロ)	9.5 (+ 2.2)	8.9 (+ 1.6)	9.2 (+ 1.8)
単価(円)** (売上高/旅客数)	12,011 (+ 1.0)	11,140 (+ 0.7)	11,568 (+ 0.7)

新規就航路線 (2019年1月以降)

→ 札幌 - ソウル 2019/4/25 就航

Intentionally Blank

補足資料



補足資料

運用航空機数	FY2017 期末	FY2018 期末	前年度 期末差	保有機数	リース機数
Airbus A380-800	0	1	+ 1	1	-
Boeing 777-300/-300ER	29	29	-	26	3
Boeing 777-200/-200ER	21	20	△ 1	16	4
Boeing 787-10	0	1	+ 1	1	-
Boeing 787-9	28	30	+ 2	26	4
Boeing 787-8	36	36	-	31	5
Boeing 767-300/-300ER	34	29	△ 5	20	9
Boeing 767-300F/-300BCF	12	12	-	9	3
Airbus A321-200neo	2	11	+ 9	-	11
Airbus A321-200	4	4	-	-	4
Airbus A320-200neo	3	9	+ 6	9	-
Airbus A320-200	7	5	△ 2	5	-
Boeing 737-800	36	40	+ 4	25	15
Boeing 737-700	7	7	-	7	-
Boeing 737-500	14	7	△ 7	7	-
Bombardier DHC-8-400	24	24	-	24	-
ANA 計	257	265	+ 8	207	58
Airbus A320-200	15	15	-	-	15
Airbus A320-200	20	24	+ 4	-	24
ANAグループ計	292	304	+ 12	207	97

補足資料

国際旅客 方面別実績（構成比）					
(ANAブランド)		FY2018 構成比	前年差	FY2018 第4四半期 構成比	前年差
旅客収入	北米	30.0	△ 0.6	29.4	+ 0.0
	欧州	19.2	+ 0.1	17.6	+ 0.7
	中国	14.7	+ 0.8	14.2	△ 0.5
	アジア・オセアニア	31.1	△ 0.5	33.7	△ 0.4
	ハワイ	5.0	+ 0.1	5.1	+ 0.1
座席キロ	北米	32.7	△ 0.5	32.5	△ 1.7
	欧州	16.1	+ 0.1	17.0	+ 1.3
	中国	10.1	△ 0.7	9.3	△ 1.0
	アジア・オセアニア	36.1	+ 0.8	36.2	+ 1.1
	ハワイ	5.0	+ 0.3	5.0	+ 0.2
旅客キロ	北米	32.1	△ 0.7	31.8	△ 0.6
	欧州	16.7	+ 0.1	16.8	+ 1.1
	中国	10.2	+ 0.4	9.6	△ 0.4
	アジア・オセアニア	35.5	△ 0.0	36.3	△ 0.2
	ハワイ	5.5	+ 0.2	5.5	+ 0.1

補足資料

国際貨物 方面別実績（構成比）		FY2018 構成比	前年差	FY2018 第4四半期 構成比	前年差
貨物収入	北米	35.3	+ 4.6	35.1	+ 6.2
	欧州	15.0	△ 2.6	16.6	△ 3.5
	中国	22.5	△ 1.7	20.6	△ 2.1
	アジア・オセアニア	23.8	+ 0.4	24.3	+ 0.1
	その他	3.5	△ 0.8	3.4	△ 0.7
有効貨物 トンキロ	北米	40.9	+ 3.0	41.1	+ 1.8
	欧州	15.6	△ 0.4	16.4	+ 0.6
	中国	14.5	△ 1.4	13.6	△ 1.7
	アジア・オセアニア	27.1	△ 0.6	27.2	△ 0.3
	その他	1.9	△ 0.6	1.7	△ 0.4
有償貨物 トンキロ	北米	41.8	+ 4.8	41.9	+ 4.9
	欧州	17.4	△ 3.7	18.2	△ 3.9
	中国	13.0	△ 0.7	12.0	△ 0.5
	アジア・オセアニア	25.8	+ 0.2	25.9	△ 0.1
	その他	2.0	△ 0.6	2.0	△ 0.4

グループ経営理念

安心と信頼を基礎に、世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である
 私たちはお互いの理解と信頼のもと確かなしくみで安全を高めていきます
 私たちは一人ひとりの責任ある誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ANAグループは、お客様満足と価値創造で
 世界のリーディングエアライングループを目指します

グループ行動指針
 (ANA's Way)

私たちは「あんしん、あったか、あかるく元気！」に、次のように行動します。

1. 安全 (Safety)
 安全こそ経営の基盤、守り続けます。
2. お客様視点 (Customer Orientation)
 常にお客様の視点に立って、最高の価値を生み出します。
3. 社会への責任 (Social Responsibility)
 誠実かつ公正に、より良い社会に貢献します。
4. チームスピリット (Team Spirit)
 多様性を活かし、真摯に議論し一致して行動します。
5. 努力と挑戦 (Endeavor)
 グローバルな視野を持って、ひたむきに努力し枠を超えて挑戦します。

免責事項

当資料には、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社グループの主要事業である航空事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

当資料はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ana.co.jp/group/investors>

株主・投資家情報 → I R 資料室 → 決算説明会資料

ANAホールディングス(株) グループ経理・財務室 財務企画・IR部

Eメール : ir@anahd.co.jp